

石川県立図書館 第 209 回企画展示

『加能史料』にみる 富樫氏



期間：平成 25 年 11 月 1 日（金）～11 月 28 日（木）

場所：石川県立図書館 3 階 閲覧室

目次

展示に寄せて……………	1 頁
展示史料紹介……………	2 頁
『加能史料』にみる富樫氏…	3 頁
富樫氏略系図……………	4 頁
富樫氏関連資料……………	5 頁

展示に寄せて

歌舞伎「勸進帳」で知られる富^{とがし}樫氏は、平安時代後期から戦国時代にかけて足跡を残す、加賀国を代表する一族です。現在の金沢市四十万・新保や野々市市新庄を荘域とする富樫荘を本拠に活動し、南北朝時代には幕府から加賀守護に抜擢されるなど、加賀国でも有数の一族へと成長しました。しかし、中央の政治抗争に巻き込まれた富樫氏は、一族の分裂と相次ぐ内部抗争の末に勢力を後退させ、やがて一向一揆の台頭を招くこととなります。

今回の展示では、この富樫一族に焦点を当て、『加能史料』や本館所蔵史料をもとに、富樫氏の歴史に関する史料や図書を紹介します。

この展示をとおして、加賀出身の一族である富樫氏に興味と関心をお寄せいただくと同時に、『加能史料』を活用した歴史研究の魅力を感じていただければ幸いです。

石川県立図書館

展示史料紹介

白山莊巖講中記録

森田文庫 3 函 - 15

鎌倉時代の承元元年（1209）から戦国時代の弘治 2 年（1556）までの、白山本宮莊巖講に係る記事を中心とした編年の記録。白山信仰に関する記事は勿論、中世加賀国の政治情勢や自然災害に関する記事もあり、富樫氏や一向一揆などの動向を知るうえで貴重な史料である。本館が所蔵するのは、嘉永 7 年（1854）に森田柿園（良見）が白山本宮（白山比咩神社）所蔵のものを謄写（書き写すこと）したものの。

北徴遺文

森田文庫 3 函 - 14

森田柿園が加賀・能登・越中の社寺や諸家伝来の古文書類を謄写したもの。全 10 冊。収録された文書の中には既に原本が失われたものもある。なお、『北徴遺文』全 10 冊は現在、『石川県史資料 近世編（5）（6）（7）』に収録されている。

汲古北徴録

森田文庫 3 函 - 16

寛政～文化年間（1789～1817）にかけて、富田景周が『越登賀三州志』を撰述する際、加賀・能登・越中の旧家を訪れ、古文書を影写・謄写して採録集成したもの。能登の得江文書や得田文書等を収録する。本館が所蔵するのは、安政 3 年（1856）8 月に森田柿園が書き写したもの。

看聞日記

093/49/4, 093/49/37

後崇光院伏見宮貞成親王の日記。応永 23 年（1416）正月から文安 5 年（1448）4 月までの約 33 年間にわたる日次記で、記手の日常生活から朝廷・幕府の動向、文化・芸能や市井の出来事に至るまで幅広い内容が記載され、政治・文化だけでなく庶民の歴史を考えるうえでも貴重な史料である。原本は宮内庁書陵部が所蔵し、本館は昭和初年に旧宮内省図書寮から出版されたコロタイプ複製の卷子本を所蔵する。

官地論

森田文庫 3 函 - 11 - 1

長享元年（1487）から翌 2 年にかけて、加賀守護富樫政親と一向一揆勢との合戦を叙述した近世初頭成立の軍記物の一種。『官地論』には他に『富麗記』・『富樫記』・『加州官地論』・『加賀国中古記』などの数種の異本が存在するが、本館は『異本官地論』（森田文庫 3 函 - 11 - 2）を所蔵する。

『加能史料』にみる富樫氏

加賀守護富樫氏の登場

富樫氏は、石川郡富樫郷（荘）を本貫地（苗字の地）とした、加賀国を代表する一族である。平安時代後期から鎌倉時代にかけて、加賀国の在地領主として勢力を拡大させる一方、京都の六波羅探題配下の在京御家人として京都の治安維持を担っていた。そのため、鎌倉時代後期には加賀国内の御家人を代表する立場にあった。

鎌倉幕府滅亡後の建武2年（1335）9月、富樫高家が、「加賀守護」に補任されると、加賀国では高家・氏春・昌家の3代による守護支配が行われた。しかし、昌家没後の至徳4年（1387）4月、加賀守護に管領斯波義将の弟義種が補任されると、富樫氏の加賀国支配はいったん挫折することになる。

半国守護の時代

応永25年（1418）、富樫氏庶家（久安家）の富樫満成は、将軍近習として幕府内部での影響力を拡大させたが、有力守護大名の反発により失脚した。この間、加賀守護斯波満種（義種の子）にかわり、本家の富樫満春とともに富樫満成が半国守護になっていた。満成没落により、富樫満春が加賀一国守護となる。

将軍足利義教の時代（在位：1429-1441）、富樫の当主は教家（満春の弟）であったが、将軍の逆鱗に触れて失脚し、弟の泰高が加賀守護となった。しかし、将軍が暗殺されたことで教家の復権が認められると、加賀守護をめぐる教家・泰高兄弟の対立抗争が生じ、幕府の仲裁で成春（教家の子）と泰高が半国守護となることで終息した（加賀両流相論）。

その後も教家・泰高兄弟の対立は続いたが、北加賀半国守護に赤松氏が就任すると和解し、富樫政親（成春の子）が南加賀半国守護を継承した。応仁・文明の乱（1467 - 1477）では、東軍に属した政親と西軍に属した幸千代（政親の弟）が対立し、文明6年（1474）7月には、政親が本願寺門徒と提携して幸千代・高田門徒に勝利した。しかし、その直後から守護方と本願寺門徒の衝突がみられ、政親と一揆の対立は時間の問題となっていた。

一向一揆と富樫氏

加賀守護の権威確立を志向する富樫政親は、将軍の近江出陣に従軍する費用を国許に賦課したことで反政親派の反発を招き、彼らは一向一揆を中心に、隠居していた富樫泰高（政親の大叔父）を擁立して蜂起した。政親はこれを制圧するために帰国したが、長享2年（1488）6月、本拠高尾城（現：金沢市）を包囲され自害した（長享の一揆）。

長享の一揆以後、権威を低下させた加賀守護富樫氏にかわり、加州三カ寺（本泉寺 蓮悟・松岡寺 蓮綱・光教寺 蓮誓）が加賀国を支配するようになった。泰高は一揆勢に推戴された事情から、本願寺勢力との協調路線をとった。享禄4年（1531）、中央政局の混乱のなかで、加賀国では加州三カ寺と超勝寺実顕が対立すると、富樫植泰（泰高の孫）は従来の関係から加州三カ寺に味方した。しかし、超勝寺方が白山本宮や本願寺の支援を得て勝利すると、加州三カ寺派とともに植泰も没落を余儀なくされる（享禄の錯乱）。

その後、富樫家を継承したのは晴泰（植泰次男）で、その動向は永禄年間（1558 - 1569）まで確認される。彼は本願寺との関係を深めるとともに、兄の泰俊とともに加賀国内の利権確保に努めている。その後、富樫氏の存在は確実な史料から確認できなくなるが、ゆかりのある人々によって、富樫氏の軌跡は現在にいたるまで記憶・記録されている。

参考文献

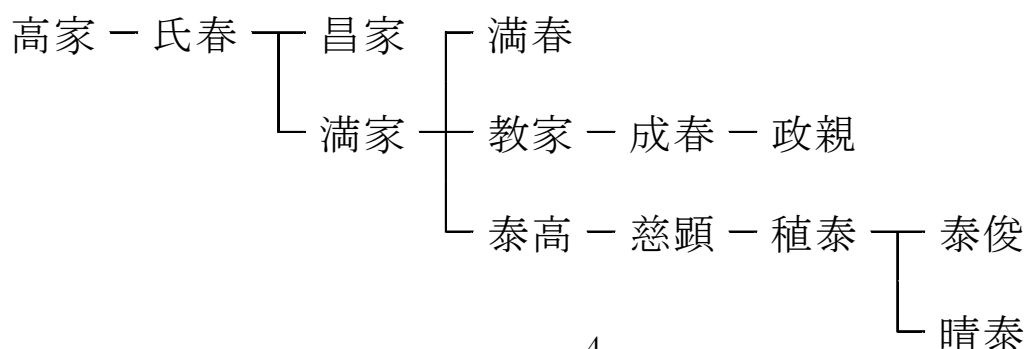
『地方別・日本の名族 7』 K280/123

『金沢市史 通史編 1』 K222/125/3-1

『野々市町史 通史編』 K223/1008/7

『富樫氏の歴史と伝承』 K288.2/1022

富樫氏略系図



富 樫 氏 関 連 資 料

資 料 名	著 者 名	出 版 社	出 版 年	請 求 番 号
石川縣史 第1編	石川県/編	石川県	1938	K209/5/1
加賀国司富樫氏と御廟谷	加藤祐策	闡提社	1939	K288. 2/20
富樫文献集	金沢工業大学文化事業部/編	金沢工業大学文化事業部	1970	K208/48
一向一揆と富樫氏	日置謙	石川県図書館協会	1971	K080/10/25
富樫氏と加賀一向一揆史料	館残翁	石川史書刊行会	1973	K208/52
富樫物語 加賀の守護六百年のあと	富樫卿奉讃会/編	北国出版社	1977	K288. 2/32
秘録広濟寺縁起と富樫氏	武佐祐善	広濟寺奉賛会	1979	K185/63
一向一揆の研究	井上鋭夫	吉川弘文館	1986	K209. 4/1007
図説石川県の歴史 (図説日本の歴史17)	高澤裕一/編	河出書房	1988	K209/38
富樫氏関係年表	野々市町教育委員会/編	野々市町教育委員会	1988	K288. 2/50
富樫ものがたり	野々市町教育委員会/編	野々市町教育委員会	1988	K288. 2/51
一向一揆と富樫氏	籙木悠紀夫		1989	K209. 4/19
地方別・日本の名族7 北陸編		新人物往来社	1989	K280/123
野々市町と富樫氏 例会卓話記録から	野々市ロータリークラブ/編	野々市ロータリークラブ	198-	K233/1032
金沢市史 資料編1 古代・中世1	金沢市史編さん委員会/編	金沢市	1998	K222/125/2-1
金沢市史 資料編2 中世2	金沢市史編さん委員会/編	金沢市	2001	K222/125/2-2
近習富樫満成考	室山孝	石川県地域史研究振興会	2001	K289/1075
ふるさと石川歴史館	橋本澄夫ほか/編	北国新聞社	2002	K209/1005
野々市町史 資料編1 考古/古代・中世	野々市町史編纂専門委員会/編	野々市町	2003	K223/1008/1
金沢市史 通史編1 原始・古代・中世	金沢市史編さん委員会/編	金沢市	2004	K222/125/3-1
高尾城跡登山 富樫氏の盛衰と一向一揆	山畑順二/編	伏見台公民館	2004	K292. 2/1050
図説野々市町の歴史 野々市町合併50周年記念	野々市町史編纂専門委員会/編	野々市町	2005	K223/1008/5
野々市町史 通史編	野々市町史編纂専門委員会/編	野々市町	2006	K223/1008/7
富樫氏の歴史と伝承 富樫氏と高尾城の歴史研究報告書	富樫氏と高尾城の歴史研究会/編	金沢市都市政策局圏域交流課	2007	K288. 2/1022
加賀・能登歴史の扉 加能史料刊行25周年記念出版	加能史料編纂委員会/編	石川史書刊行会	2007	K209/1008
一向一揆と石山合戦	神田千里	吉川弘文館	2007	K209. 4/1017
地域社会の歴史と人物 加能地域史研究会創立30周年記念論集	加能地域史研究会/編	北國新聞社	2008	K209/1011
図説加賀の歴史	田中創, 五味尚文/編	郷土出版社	2011	K220/1002



第 209 回企画展示

『加能史料』にみる富樫氏

編集・発行 石川県立図書館

金沢市本多町 3-2-15

発行日 平成 25 年 11 月 1 日
